

北海道介護福祉学校1年「生活支援技術Ⅰ」 栗山高等学校 1年「栗山と福祉」

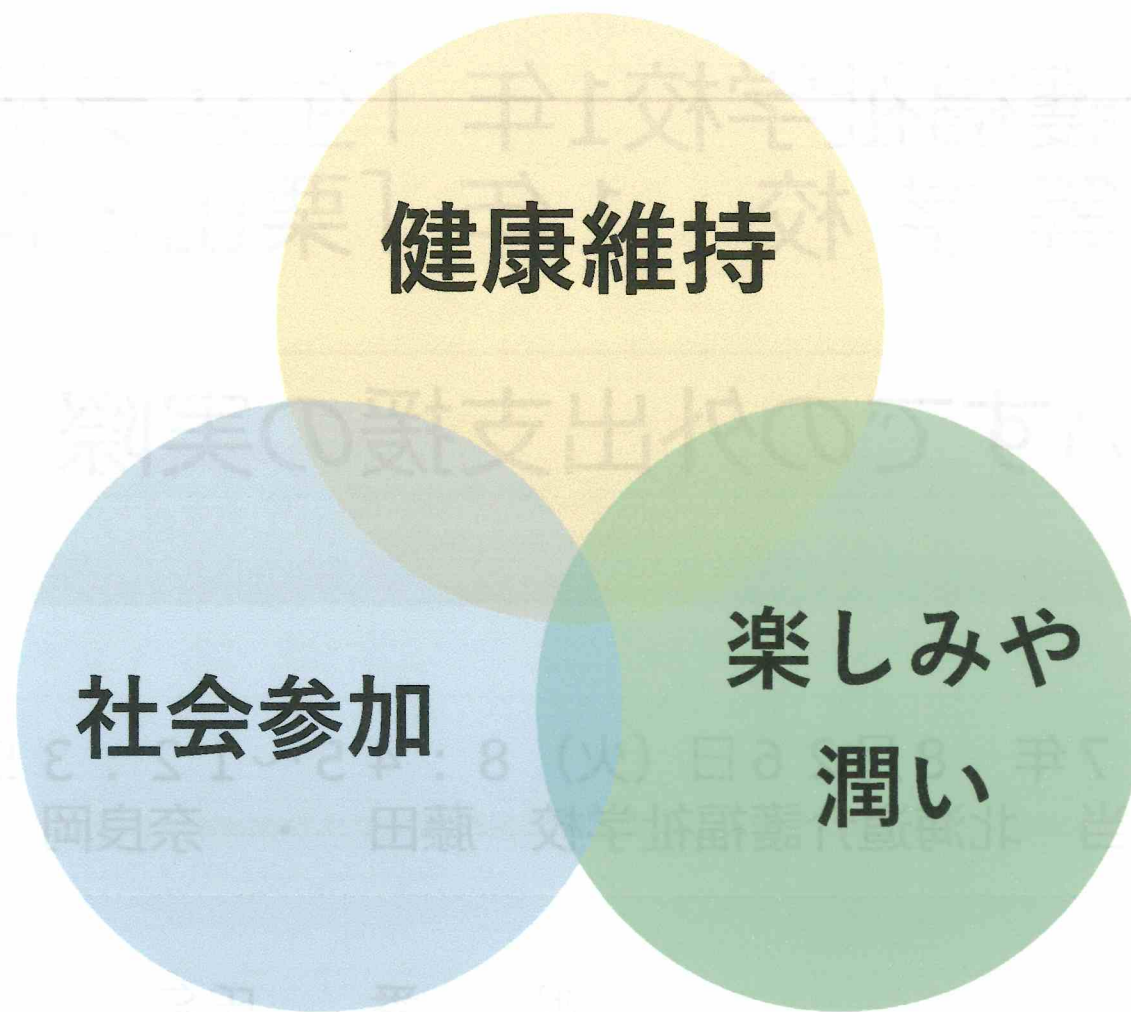
～ 車いすでの外出支援の実際 ～

令和 7年 8月26日（火） 8：45～12：35

担当 北海道介護福祉学校 藤田 ・ 奈良岡

組 番 氏名

< 高齢者にとっての外出の目的 >



< 車いすを用いた外出支援 >

【外出計画】～ 買い物、旅行、受診他目的が多様。

- 車いすでの移動が可能かどうか

- トイレの有無・スロープや段差、路面状態・休憩場所

- 車いす1名に対し、2名以上居れば安心

- 距離と移動時間・移動方法

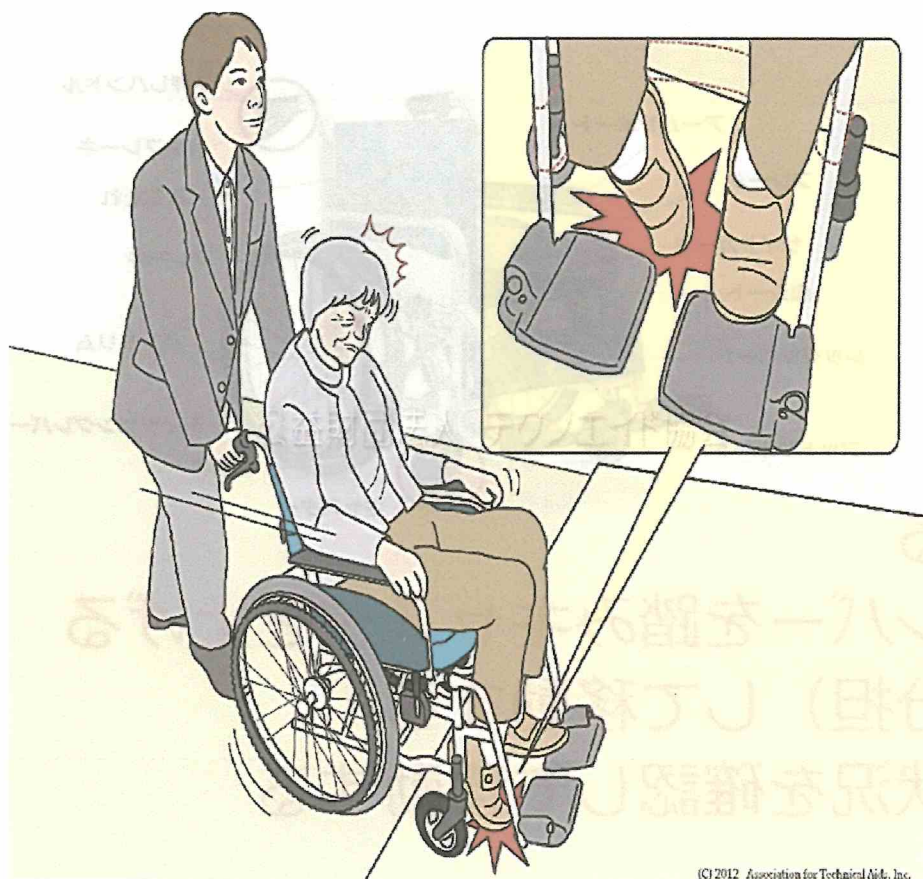
- 車いすの点検（空気圧・ブレーキ具合）・天候と持ち物

< 外出支援で想定される危険予測 >

・ ずり落ち、転落、衝突事故、体調変化等のリスク



どのような理由により危険な状態でしょうか？



<安全のポイント>

必ず声をかけましょう！

- 停車時は両ブレーキをかける
- レッグサポート装着を確認する
- フットサポートに足を乗せ深く座る
- アームサポートにしっかりと掴まる
- 傾斜のある下りは、後ろ向きで降りる
- 段差を越えるときは、ティッピングレバーを踏みキャストを上げる
- 路面状態により、複数の人と協力（分担）して移動する
- 介護者は前方だけではなく、周囲の状況を確認して移動する



本日の演習を通して、考えてほしいこと

1. 車いすを利用する人の気持ちになって必要なこと
2. 介護者の立場として必要なこと
3. 車いす移動の実際から、バリアフリー、アクセシビリティの面から必要なこと

